

9月実力テスト 結果報告 神吉中学校 Top10 に 4 名！

1位、3位、6位、10位、11位…/約250人中

◎ 2学期実力テスト 結果分析

〔永井オーナー〕

○ 受験で実力を発揮する長時間学習の確立

〔清水館長〕

○ 現場の声

中3 2学期こそ、真の勝負時！

中2 計画性を確立し、自分を乗り越える

中1 2学期実力テスト分析より 他

○ 症例検討 中3生 真面目で素直

考える力・理解力・コミュニケーション力が高く
徐々に成績UPしている症例

○ 学力アップ memo・今月の名言

〔神吉事務長〕

○ 英語 2021年度「リスニング」放送原稿

○ 新作教材 9月は、10単元！ 他

いいよいよ秋、受験業界では「夏に基礎を鍛えた人は秋に実る、そして冬を制す。」というフレーズをよく使います。夏期講習では多くの塾生が基礎を鍛えました。実りの秋はこれからです。夏に学んだ基礎の鍛錬を継続しながら、実践演習も徐々に増やしていく時期です。具体的な達成目標を明確に、学習計画と一緒に作成します。毎月の学校テスト結果（順位）に一喜一憂しがちですが、**ぶれずに自分を信じて第一志望校合格まで、淡々と実践できる強さとイメージ**を大切にサポートします。成功に導くコーチング・周囲の関りも大きな役割を果たします。3項目に整理しました。ご家庭でも試して頂くと、親子ともに成長のきっかけになるかもしれません。

1. よく聞く！

「どうしたの？」「どうしたい？」「なぜ？」

2. いつもポジティブな態度を貫く

できると信じ、長所を武器にする

3. 目標達成に向け、対等な目線で寄り添う

上から「～させる」ではなく、共に歩む教室でも心がけて、豊かな実りを一緒に実感したい所存です。（塾長 清水）



達成テスト

中3 『相似』 11/16 (火)

『関係代名詞』 10/19 (火)

中2 『三角形』『比較』

10/26 (火)～29(金)

中1 『比例』『一般動詞』

10/25 (月)～27(水)

前川巧充先生のコメント
姫路独協大学 医療保健学部
作業療法学科 一年

朝晩かなり涼しくなってきました。皆さん、体調は崩してないですか？秋といえば食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋とよく言います。今回は、その中の読書についてお話します。文章を読む力というのは、とても大切です。塾でも速読トレーニングをしていると思います。文章を速く、内容をしっかりと理解して読むことで国語の長文や数学の文章題の回答までの時間を短縮することができそうです。速く丁寧に問題を解くことで他の問題を解く時間が増えて、見直しの時間も増えます。塾の速読トレーニングでも効果はありますが、自分でも本を読むように習慣づけることでさらに文章を理解する力、速さを上げることができます。小説なら物語を楽しむながらその力を身につけることができます。息抜き程度に本を少しずつ読んでみるところから始めて下さい。

中間テスト対策

過去問模試 10/13 (水)～15(金)

基礎復習 9(土)～11(月)

SS 解説 15(金)～16(土)

自習棟 O.S. 15(金)～16(土)

(注意) お迎えご苦労様です！

- ・安全のため、**出口すぐ前は駐車しない**で下さい
- ・**エンジンを切ってお待ち下さい**
- ・**停車・発車時のエンジン音へのご配慮**もお願いします



いくせい塾すぐ前（西）の道は通学路につき pm1:00～4:00 は車での通行禁止ゾーンになっています。お気をつけ下さい！

Tel.079-431-5777 E-mail ; ikusei-j@carol.ocn.ne.jp

2 学期実力テスト 結果分析



◎ 5 科目平均点以上割合 **☆いくせい塾の目標：全塾生の達成**
 中 1 生；全員が平均点以上を達成しました！

中学部	1 学期実力	1 学期中間	1 学期期末	2 学期実力
3 年	100%	88%	88%	89%
2 年	65%	81%	81%	69%
1 年	—	100%	100%	100%

◎ 5 科目平均点比較（塾平均－学校平均）

中 1 生；毎回 1 教科ずつテスト調べの方法を学んでいっています

中学部	1 学期実力	1 学期中間	1 学期期末	2 学期実力
3 年	+65.9 点	+74.2 点	+78.4 点	+61.0 点
2 年	+46.2 点	+59.5 点	+65.8 点	+62.5 点
1 年	—	+66.7 点	+82.5 点	+31.2 点

◎ 5 科目学校順位〔上位 1/3 割合〕

真の実力には、学習時間の壁をクリアしなければなりません！

中学部	1 学期実力	1 学期中間	1 学期期末	2 学期実力
3 年	43%	50%	50%	44%
2 年	41%	44%	56%	50%
1 年	—	50%	100%	0%

☆中 3 数学の難問対策に効果がありました

例年、2 学期実力テストより、数学は平均点に吸収される塾生が増えていました。

対象は中上位層の真面目なタイプです。原因は、高得点を目指して受験して、難問を見たときにパニックを起こして、解ける問題でもミスをしてしまうパターンです。

上位層の多くが +15 点取れたのは、“戦術” 訓練を本番で表現できたからと思います。

天賦の才を開花させる
 自己責任・自己管理、そして自己実現をサポートする

☆学年別・教科別の考察

中3	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+18.4点	+11.0点	+12.2点	+10.1点	+9.9点
平均点以上	89%	78%	89%	89%	78%

〔全体〕塾平均点－学校平均点 文系科目が高得点

学年の特徴として、定期テストに比較して実力テストが明らかに低い傾向にあります。夏期講習で基礎力はつけたと思われますが、実践の応用力まで到達していないと考えます。2学期以降に実践問題を数多く解いていく学習が必要となります。

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

基礎的な知識の習得は、普段から十分にしておくことが重要と考えます。本番でミスを少なくするために、平素より実戦形式の緊張感を持った学習姿勢が重要です。

中2	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+7.8点	+20.4点	+7.4点	+14.9点	+13.7点
平均点以上	50%	94%	50%	81%	69%

〔全体〕塾平均点－学校平均点

数学の結果が非常に高く、英国で得点が低いです。5教科で得点を上げるためには、普段の授業で必要な基礎知識を整理し、テスト前は効率よく全体を復習できる状態に仕上げておくことが重要です。計画的に整理する習慣をつけてもらいたいと思います。

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

平均点以上を達成するためにも、基本の取りこぼしを減らすことが重要です。2学期以降は、英語・数学共に内容が難しくなってきます。普段の授業で基本事項の理解を徹底して、テスト前には実践問題のトレーニングが必要になってきます。

中1	英語	数学	国語	社会	理科
全体	+12.0点	+15.6点	+5.9点	+5.5点	－0.7点
平均点以上	67%	100%	100%	67%	67%

〔全体〕塾平均点－学校平均点

前回の結果に油断した人、逆に奮起して夏休みに頑張った人。モチベーションによって、結果は大きく変わっていく時期です。数学をもとに学習方法を学んでいる段階です。どのような勉強方法をしていけば結果につながるか、試したことは毎回反省して次に活かす時間のあるときに、テスト調べの方法を確立していきましょう。

〔平均点以上〕学校平均点以上の塾生の割合

対策指導を1教科ずつ進めています。数学は、全員が平均点以上を達成しました。理科は、2学期中間テストのテスト調べで、勉強方法をしっかり確認してもらいたいと思います。

受験で実力を発揮する長時間学習の確立

本番にピークをもっていく準備の仕方とは・・・

9月の実力テストで、神吉中学 Top10 に4名（1位、3位、6位、10位）11位の塾生もいました。中3、中2生は、総勢25名ですので、大したレベルだと感心します。ここでは、受験においても同様の結果を創造するための考察をすすめます。

オリンピックを例に挙げれば、4年計画で最高金メダルを目出すことになる。

人間の体力や精神力を考えた場合、4年間トップギアで走り続けることは不可能である。その理由は、その期間中に“故障”が生じてしまうことにある。

体力的な故障→運動器・消化器・循環器…、精神的な故障→神経系・内分泌系…
いつも交感神経を優位にしていると、筋肉が緊張状態を維持できなくなったり、分泌腺が機能不全になったりする。つまり、限界を超えて“不調”を訴え始める。

まじめで勤勉だけでは、**やる気はあるが実行が伴わない状況**に陥ることになる。その原理が分からない人は、自分を責めて新たなマイナスを自ら生み出すケースもある。

実直な人間は、休憩がいかに意味を成すものかを知らなければならない。

いくせい塾の達成目標には、『自分を知り、乗り越える』という一文がある。厳密に言えば乗り越えることはできないので、「実力を発揮する」が正確な表現である。

では、自分を知るためにはどうすればよいのか？

それには、**限界をくり返し試す**ことが重要になる。

一度だけ試すのではなく、繰り返すことが必要となる。

これは若者、青年期の特権でもある。壮年・老年期になれば体力が付いていかなくなる。

中学生は、部活の大会で指導者による結果の違いを実感している。

高校生にもなれば、優秀だった選手が伸び悩み、自分が追いつくことも経験する。

中学生においては、**実力の表現法を知らない**だけに、コーチの指導力が大きな差となる。カリキュラムとやる気の引き出しと達成目標の的確な設定が、コーチの手腕の差となる。

コーチとは伝達能力の高い先行経験者で、おもに親・先生・先輩たちが役割を担う。

話は私事になるが、最近心療内科の勉強をし始めている。

動機は、後期高齢者の時間外外来を減らすためである。

季節の変わり目に、**気分障害**とか**不安神経症**とか自律神経症状を起こしやすくなる。

生活習慣病の医者は、季節ごとに降圧剤の調整をする。

かかりつけ医には、毎年処方データがあるので、例えば「昨年は10月にアムロジピンを2.5mg から5mg に増量しています。そろそろ血圧が上がるかも知れません。」と患者に心構えをお教えする。しかし、後期高齢者、特に女性に多いのだが、突然180mmHgを超えて、時間外外来を受診する人がいる。家族も大変なストレスになるので、できればそのようになる頻度を減らしておいてあげたい。生産性の低下にも結び付く社会的な問題でもある。

現実では、かかりつけ医では時間外であったり、市民病院では受け入れてもらえなかったりすることもある。それが、重症ではなくても救急車を安易に使うことにも繋がっている。一般外来で時間を十分かけると、待っている他の患者がクレーム、時によっては怒り出すケース

があり、その対応でスタッフの業務が滞ることもある。そのためもあり、医者診療は短いものになってしまう傾向にある。

話は受験に必要な長時間学習の実現に戻る。

私は、専門書を1冊久々に読もうとしているが、学習習慣の衰えを実感している。

医大生の30代後半は、15分あればスケジュールの消化をしていた。

電車で揺られながらも、配布プリントをすべて復習していたものである。

それが還暦前になれば、老眼鏡を買うことから始めなければならないことに気づいた。

次に脳が、長時間学習に簡単に順応できない状況であることも分かった。

40代になって、数百メートルも走れなくなっていることに驚くことは無いでしょうか。

(高校生の時、あれだけ走っていたのに…)

思い通りの結果が出ないとき、人はいろいろな反応をする。

知恵の乏しかった若い頃(体力は今の何倍もあった)、できない理由を、他人の責任に転嫁することを考えていた。

いくせい流は、知恵の活かし方を学びます。

できないとあきらめるのではなく、すると決めたら“どうすればできるか”を考えます。

失敗しながらも、必ず結果に結びつけるやり方である。

(アドバイスのパターンを整理したのが、学力アップメモでもある)

当初の1か月計画を延長して、専門書の理解・読破をすることに変更した。

理にかなったやり方をすれば、脳神経を順応させていけます。(高齢者リハビリの可能性)

生物はストレスから身を守るため、生命を継続させるために、戦ったり、逃避したりします。

これは短時間の行動のパターンですが、時間のスパンを大きく伸ばして環境変化まで考えると

ときには、**自分の体形体質を適応**させていきます。

周囲の外敵からグループを守るために、男は戦死となって肉体改造をします。

男性ホルモンの増加の下に、筋肉量が増えて戦いに有利になる変化を創り出します。

脳においては、神経の伝達物質の増量、神経回路(シナプスの結びつき)が強化されます。

このような変化は数時間ではなく、**数週間のストレス・トレーニング**が必要になります。

有酸素運動の始まりは筋肉に乳酸が貯まり、10分程度は苦しい時間帯が継続します。

記憶学習においても、最初の時間帯(30分程度?)は“気力”が必要になります。

いくせい塾は、夏休みに8時間学習を恒例的にしています。(コロナのため不十分?)

慣れるまでには、日数がかかるものです。

周囲の友人が頑張っている姿を見て…、先生のアドバイスで最初が楽になったり…。

“気力”には、明確な目的が必要になります。

私の場合は、患者さんが安心して過ごせる季節の変わり目の実現です。

専門医を目指すわけでもなく、目の前で困っている患者家族を“感じる力”があります。

困っている人を、助けてあげたいという“想い”があります。

自分にはできるという、“経験”と**自信**があります。

あとは「やった方がいい」と、**直感**するから**する**だけです。

(オーナー・医師 永井)

Shimizu 塾長の 現場の声



Zoom の上手な活用法を追究し続ける！

Zoom 活用の上達は、コロナ禍だけでなく未来に向けて必要なテーマの一つだと考えます。メリットとその活用法をお互いによく理解し、毎月毎月上達させていきたい所存です。面談や質問解説を頻回に実施することにより、Live 以上の結果創造を目指します！

【メリット】

- ・通塾（送迎）時間とそれに伴うエネルギー消費ゼロ
- ・自律心が培われ、自立の方向に向かい易い
- ・慣れた自宅の環境は、他者の目を気にせずマイペースで学習できる（ストレスが少ない）
- ・チャットやブレイクアウトルーム活用により、プライバシーが守られやすい

【活用法】

- ・通塾に要する時間やエネルギーを学習時間&意欲に変えられる
（授業前後で 50 分は学習時間増を！）
- ・より自分に合った学習環境創造を工夫して実践しよう（いつも better を意識して）
- ・面談回数の増加（手軽に面談でき、ライブに遜色なく実施できる）
- ・個別解説も容易（質問を先送りすることなく、1 題でも気軽に予約可）

中 3 2 学期こそ、真の勝負時！

5 教科既習全範囲基礎知識の整理・実践演習・過去問模試・時間配分等の攻略法解説…、例年より短時間でしたが、“これでもか！”というくらいに打ち込んだ夏期講習でした。それでも成果を実感できた人とそうでない人に、二分される現実が待ちっていました。

成功した人は、**油断・過信**することなく、第一志望校合格まで**日々淡々とやり続ける意志力と安定した実践力**が必要です。

今回成功しなかった人は、足りなかったことを一緒に反省し、実りの秋に活かせるようにサポートします。

実力テストと定期テストの傾向と対策の差をよく理解し、それぞれの分析と計画が必要です。

【国語対策の成果】

定期テスト対策ほどの成果を出すことはできませんでしたが、塾生の学校平均点差は下記のように、徐々に上昇しています。

4 月実力→学校平均+1 点 7 月実力→+9 点 9 月実力→+12 点

夏期講習中ほぼ毎回、分野別に多くの過去良問演習→解説→直し を繰り返しました。講習中だけでなく、**毎日 1 題を継続する**ことにより更なる成果が望めると考えます。

① 成功した人

- ・基礎知識の価値を知り、地道に基礎を強固にしようとする**強い意志力と体力**があった
- ・脱丸暗記、真の理解を求め**丁寧な直し重視で繰り返しを強化**していた
- ・夏期講習で習得した学習方法や**本番の発揮力**を、素直に実践できた etc.

今回は成功しなかった人

- ・長時間&大量に学習した自身への自己満足・過信があった
- ・手の届く（正解すべき）問題と正解できなくてもよい問題の区別が曖昧（欲が出た）
- ・コロナ不安や人間関係等、勉強以外の心配事が学習への集中度を妨げた？

👉改善プランとして…

- ・学習計画の価値を知る（作戦や優先順位を考える時間を毎日確保する）
- ・速く正確に解く基礎トレーニングをより強化し継続する（速読・計算・思考…）
- ・効率良い得点力の上げ方を追究する（解る問題で確実に正解する／加点方式）

解ること・やったことが、本番で正解できる力に鍛えていくと結果につながります。
やはり、“量”の増加と“繰り返し”の徹底・心身の強さにまとめられるでしょうか。

それぞれの状況に応じて、あと数回の実力テストで徐々に正解率UPしている
未来を信じ、コツコツやり続けるしかありません。（テスト毎に分析面談を実施）
すぐに成果が出なくても、やり続けていると3か月後には成果を実感できると、
よく言われています。

中2 計画性を確立し、自分を乗り越える

Zoom利用率が高く、毎回2/3の塾生がリモートです。

成果を心配しましたが、塾生の学校平均点差は下記のように、徐々に上昇傾向です。

4月実力→学校平均+53 1学期中間→+54 1学期期末→+66 9月実力→+64

9月実力テストでは、4月実力に比べ+10点・1学期中間&期末に比べてもkeep以上の
成果が認められています。（油断大敵！）

さて、ここからです！

いかにLive以上の成果を創造していくか？

メリットは最初にかきましたので、デメリットから改善プランを考察して参ります。

【デメリット】

- ・どのような環境でどのように学習しているのか、理解度・集中度も含めて現状把握し難い
- ・臨場感を共有しにくく、モチベーションUPへの影響が少ない
- ・どこまで管理するのが適正なのか、現在模索中

【改善プラン】

- ・面談を頻回にすることにより、きめ細やかに現状把握する
- ・生徒からの発信を増やせる雰囲気づくりにも努める（自主性育成）
- ・自己管理シートを作成する→授業後にメール送信）

（集中度 質問 直しノートチェック カメラ活用 等）

色々なご意見も聞きながら試行錯誤し、年内にはリモートシステムを安定させたい所存です。

具体的な現状として、結果の出ている人は、自ら湧き出す目標が明確で実践も伴っています。
やる気は出てきたけれど、なかなか安定継続して実践できない人もいます。

2学期は、特にこの人たちの実践サポートを重視したいと考えています。

前日に急に詰め込んだり・良かった次は油断したり…と、自立への自覚が十分ではなく
まだ高校受験を、近未来のこととして捉え切れていない一面があります。

事あるごとに、入試問題に触れる機会を増やしていきます。
受験や進路についての問いかけを増やし、学年全体に良い刺激になる環境（活性化）を創造したい所存です。

全員に言えることは、自分の目標に対してゴールから逆算した計画を熟考→作成し、
決めたことはやる！と、毎日毎日自分を乗り越える鍛錬を続ける姿勢を応援します。

長時間学習力は、中2秋頃から始め、入試までずっと鍛え続ける必要があります。
土曜日 OS は、中3受験生の良い影響も受けやすくなっています。
来年の自身に会う気持ちで、考えて取り組めるように、カウンセリングを進めていきます。

中1 二学期実力テスト分析より

まだ幼い？ Zoom 講座の増加により、例年のような夏期講習を実施することができませんでした。まだ、そばにいて見られていなければ（教えてもらわなければ）自分で学習できない段階と判断しました。

人数が少ないため、全員 Live 講座が可能です。
下がった時こそ、最良のチャンス！ 目標を新たに元気に立ち向かっていきましょう。
2 学期中間テストまでは原則 Live とし、1 学期以上の成果を創造したいところです。

テスト分析では、何と言っても“学習量の不足”！
1 学期できていたことを忘れていたり、凡ミスが多発していたり…。

（減点のワースト3）

- 基礎計算ミス・符号ミス
 - スペルミス・漢字ミス・曖昧暗記
 - 問題読み違い・答え方ミス
- です。

もう小学生のときのように、家庭学習なしに高得点を獲得することは難しくなっています。
ここから、家庭での学習習慣により成績の差が生じます。

2 学期は、「毎日 決めた時間に学習する」を共有のテーマにしたいと思います。
また、繰り返し易い書き込みメモや自分の言葉で整理するスキル UP をサポートします。

上記減点を失くすために…（毎日の積み重ねが何より効果的です）

- ・ 毎日 1 題でも基礎計算トレーニングをする
- ・ 英単，漢字，理社基礎用語を 1 日各 3 個以上暗記する（声を出そう！）
- ・ 日頃から“読む”機会を増やす（読書・新聞・インターネット検索等）

効率的暗記法として…（毎日適量を継続すると効果が望めます）

- ① 暗記項目をよく見て、一旦脳の記憶に留める
- ② 声に出して読む・よく目につくところに貼る・文字の色や大きさ等で印象付ける・くり返し書く等、記憶に残りやすい自分に合ったやり方を工夫する

その前に「理解したい&覚えたい！」という自身の意思が土台になります。
何のために覚えるのか・勉強するのか…などもよく問いかけて、自ら気付くカウンセリングを実施したいと考えています。

現在、中1生は指導適正人数に達していません。
良い競争の演出等、いくせいのシステムを活かすためには、適正人数の確保も重要な項目になります。
友人・知人の方等、ご紹介頂ける方がいらっしゃいましたら、是非お知らせ下さい。
よろしくお願い致します。



中3一学期半ば、単教科指導塾より総合受験指導塾を求めて転塾

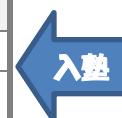
得意科目は英>数>理 国語に苦手意識

(学年) 中学3年 (将来の夢) 考え中 (志望校) 東播磨高校

真面目で素直、考える力・理解力・コミュニケーション力が高く、徐々に成績UPしている症例

テスト	国語	社会	数学	理科	英語	5 計
1 学期中間	+10	+5	+5	-5	-10	+5
1 学期期末	-5	+5	+5	+0	+15	+20
2 学期実力	+10	+5	-5	+15	+15	+40
2 学期中間	-10	-10	-5	+10	+25	+10
2 学期期末	-10	-10	+15	+0	+15	+10
3 学期実力	+10	+5	+10	+0	+15	+40
3 学期期末	+0	-10	+0	+0	+20	+10
1 学期実力	+0	-10	+5	+15	+5	+15
1 学期期末	-10	-10	+10	-5	+5	-10
2 学期実力	+5	+0	+20	+25	+20	+70
2 学期中間	+0	+5	+15	+5	+15	+40
3 学期実力	+0	+10	+5	+20	+15	+50
3 学期期末	-5	-10	+20	+10	+15	+30
1 学期実力	-15	+5	+5	+20	+15	+30
1 学期中間	-10	-5	+10	+0	+15	+10
1 学期期末	-10	+5	+20	+15	+15	+45
7 月実力	+5	-10	+15	+20	+10	+40
2 学期実力	+10	+0	+15	+10	+15	+50

※学校平均点差は5点単位



① 国語への苦手意識大

〔原因〕 合理主義者の面倒くさがり屋さん。

漢字に関心が少なく、字画の多い文字を書くことに面倒さを感じていた。

読書もそんなに好まず、中3になっても“ひらがな”の多いノート。

苦手意識の強さから、ほとんど国語を勉強することがなかった。

〔対策〕 入塾後、成績分析（グラフ）より、国語を上げれば5 計順位が大幅アップすることに

気づきました。真面目さより、いくせいのアドバイスを素直に実践できています。

継続して国語の学習法を実践し続ければ、理解力が高いこともあり

得意科目になる可能性もあります。

② 社会、特に歴史に関心が持てない

〔原因〕漢字に苦手意識のあるところから、余計に歴史への関心が薄らいでいる。

覚えることよりも考えることが好きなので、つい後回し教科になっている。

〔対策〕段々 漢字の覚え方も上達し、暗記すれば得点力UPすることも体験しました。

書いて覚えるだけでは苦しい勉強になりますので、質の高い動画活用もお勧めです。

目で見て・耳で聞いて、興味関心を持ってから教科書に向き合うと、変化があると思います。部活代わりに、毎日のニュースをチェックしたり・社会関連の教養を高める読書やネット検索をしたりすることも価値があります。

何故、私達が暮らす社会全般の事ですから、知っておくと役立つに違いありません。

③ 得意科目は数英理

〔原因〕応用問題を考えるのが好き。英語の長文読解もなんとなくできる。物理や化学分野には興味関心がある。と言った理由より、好得点安定傾向。

しかし、基礎での減点がいかにも多いことか。

（計算ミス・スペルミス・漢字ミス・読み違い・答え方ミス…）

〔対策〕答案分析より、応用は正解しているのに基本で失点している現状に気づきましたね。

得意科目でも、まだまだ上げられます。基礎を強固にすることです。

基礎計算&暗記強化により3教科で約30点UPが見込めます。

実りの秋に繋げる為にも、毎日地道に基礎力強化するペース創りをサポートします。

丁寧に途中式を書いたり・落ち着いて問題を読んだり、重心をやや下げると得点UPし易くなると思います。

◎ アドバイス

入塾後、目標も明確で良い流れです。

成果も目に見えていますので、モチベーションも上げやすい状況ですね。

油断することなく改善プランを継続していると、もうワンランクUPが可能です。

得意科目は、ミスゼロへ&苦手教科は毎日少しの積み重ねにより、

5計50点UPを2学期の目標にしませんか。

達成できると、人としても大きな自信に繋がり、未来へのかけ橋になると信じます。

並行して、得意の英語を武器にすることもお勧めです。

大学受験は勿論ですが、

就職試験や社会人になってからも通用する

英語力習得目指してはいかがでしょうか。

元々コミュニケーション力の高いあなたには、

興味関心を持って楽しく習得できそうです…。



10月の学力アップ memo IV.通常授業

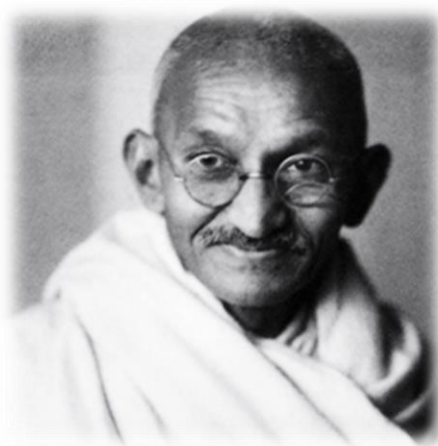
タイトル	本文
① 進度	毎週1節、講義棟で実践 自立型個別学習を目標とする
② 計画	次週の内容をHPで確認 スケジュールノートに書き込む
③ 語句調べ	英単語・漢字テスト対策 前日までに済ませている
④ 色分け線引き	脳にノートする記憶術 線種を区別しながら覚えている
⑤ タイミング	授業ノート・ワーク要点確認後 時間を空けずに実践問題を演習する
⑥ 形式	ワーク・過去良問の実践 大問毎、テスト形式で演習している
⑦ 分量	学力維持に必要な問題数 ワークは、毎週各教科3問以上演習する
⑧ 評価	間違えた問題の活かし方 3段階に区別・記入・準備する
⑨ 活用	想起スピードを優先 ワークに受験知識の書き込みをする
⑩ 家庭学習	自立レベルと時間の長さ 塾日以外1.5時間、土日3時間以上
⑪ S1 予習	必要なとき必要なだけ準備 教材を確かめ、状況を予測する
⑫ S2 復習	ワーク関連問題を演習理解 自習棟では、過去良問も実践する
⑬ 完全理解	SS 解説で解り難いとき その週内に個別質問で解決する
⑭ 確認テスト調べ	理社と語句は予め公開 調べれば、解答が準備できる
⑮ 確認テスト直し	不正解の理解・得点化 返却日にやり直している
⑯ 達成テスト調べ	本番を意識した予行演習 時間設定とテスト形式が早期合格の条件
⑰ 過去問検索	傾向と対策を考察 平素よりタブレットで閲覧する
⑱ 過去問管理	リスト表に小問単位で評価 完全理解まで何度も繰り返す
⑲ 定期テスト準備	テスト調べの完成度 平素よりノート整備を進めている
⑳ 受験教材	要点ページに線引き書き込み 受験までに何千回と開閉している
㉑ 自習棟使用	毎週ノルマを自己管理で実践 自立度により使用权が与えられる

※学力アップ memo は、永井医師の自らの医大生経験によるオリジナル指導マニュアルです

10月の名言

真摯に生きた偉人の知恵から学ぼう！

日にち	偉人(国籍)	名言
5(月)～ 10(土)	アンネ・フランク (ドイツ)	薬を 10 錠飲むよりも、こころから笑った方が ずっと効果があるはず
12(月)～ 17(土)	吉田松陰 (日本)	夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし 故に、夢なき者に成功なし
19(月)～ 24(土)	マザー・テレサ (インド)	思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから 言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから 行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから 習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから 性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから
26(月)～ 31(土)	ガンディー (インド)	明日死ぬかのように生きよ 永遠に生きるかのように学べ



Kanki 事務長の 新作教材

兵庫県入試 2021 年度英語 『リスニング』 放送原稿

リスニングは毎年必出で、大問で3題約 10 分間、配点 24 点のテストになります。

通常のリスニングテストでは、英文は 2 回読まれるものです。

しかし、**昨年度の 1 問目は英文が 1 回だけしか流れませんでした。**

注意点として、問題文や聞き取り原稿内にも含まれています。

2 回目に聞き返すことができないので、**思い込んで前振りまで聞き飛ばさないよう、1 回だけの場合もあることを覚えておき、本番で焦らないための心構えが必要だ**と感じました。

聞き取りには、英語に耳を慣らすことが重要です。

2 学期からの受験講習では、過去 10 年分を放送原稿と見比べながら流しています。

英文が続けて読まれることで、ほとんど発音されていない単語などを見つけていくことも進めてみましょう。聞くだけで状況を正確に把握できるようになれば、リスニングには対処できるようになってくると考えます。

放送原稿の台紙では、英文の後に日本語訳をつけています。

自分で聞き取った英文の訳から、場面や表現などが正しいものか、確認してもらえたらと思います。英文によっては、重要な文法事項や慣用表現が使われているものもありますので、耳に馴染ませるだけでなく、文法復習にも活用できると考えます。

有効に活用してもらえたらと思います。

Stage 1, 2 用授業教材

理科・社会・数学の本年度カリキュラム分、修正が完了しました！

本年度のカリキュラムに合わせて、新ワークの教科書に合わせた SS 教材を活用できるようにと、3 月より順序だてて進めてきました。

より分かりやすくできるように、途中でも工夫を加えながらですが、予定よりも順調に進みこの 9 月で改訂を完了することができました。

理科・社会においては、カリキュラムの合間に入試対策講座を入れる時間もできました。

特別教材や、ワーク単元後のまとめのテストや実験・計算トレーニングなど、普段では手をつけられないワークページにも焦点をあて、**教材を使いこなすことができるように作成**しています。

カリキュラムの中で、紹介している問題だけではなく、ワークの隅から隅まで確認することができれば一通りの及第点だと考えます。それよりも、一度実践した問題をテスト本番ですぐに思い出すことができるようになるまで、2 回・3 回と見直しすることが重要です。

時短ができるように、SS 教材は利用できるようにしています。

評価や間違い直しは、「どの問題」から「**どの部分**」に**注意して解けばよいかを意識**したものとして、ワークをノート代わりに作りこんでもらいたいと思います。

いくせいオリジナル教材 〈9月作成分〉

より効率的に学習できるように大幅に改定しています

学年	科目	種別	タイトル	作成者	改定率
1 年	社会	Stage1,2	人々の結付が強まる社会	永井	★★★★★
3 年	社会	Stage1,2	国際社会の課題と私たちの取り組み	永井	★★★★★
3 年	理科	Stage1,2	人間と環境	永井	★★★★★
1 年	数学	Stage1,2	資料の整理	永井	★★★★★
2 年	数学	Stage1,2	確率	永井	★★★★★
3 年	数学	Stage1,2	円	永井	★★★★★
1 年	理科	Stage1,2	語る大地	永井	★★★★★
全	国語	速読	月面の水や鉱物に所有権	清水	★★★★★
全	国語	速読	アルビノ迷信が生む悲劇	清水	★★★★★
全	国語	速読	デジタル促進へ課題山積	清水	★★★★★

塾生募集!! 定員各学年15名

- ① 自己責任・自己管理・自己実現をサポートします
- ② 勉強のやり方・成績の上げ方を説明指導します
- ③ 週 7.5 時間の集中で、必ず伸びるシステムです



お友達をご紹介します！

感謝の気持ちをこめて、ポイントを進呈させて下さい
 キャンペーン中は入会金が無料。
 紹介されたご家庭もお得です

※ポイントは講習費に充当されます

	ポイント加算
入塾説明終了後	500 ポイント
体験終了後	更に 500 ポイント
入塾後	更に 9000 ポイント